

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和5年2月8日 No. 5 | 文責：佐野紳二

二月になりました

2月も第2週目を迎えました。先週は大寒から節分・立春と、二十四節気では少しずつ春が近づいている時期となってきました。相変わらず寒さが続いています。今週の半ばからはスギ花粉の飛散が始まるという予報もあるので、やはり季節は少しずつ春に近づいているようです。

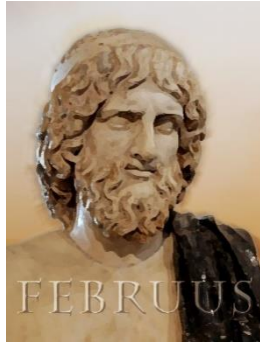
2月のことを、日本では如月（きさらぎ）と言います。なんだかとてもカッコいい響きですね。6月に、「雨がたくさん降る季節なのになぜ水無月（みなづき）？」ということについて書かせていただきましたが、今日は1年の各月の和名（？）と、その由来について調べてみました。

月	和風月名	由来など
1月	睦月（むつき）	「親戚が集まり仲睦まじくするから」「元つ月が転じた」「実月が転じた」の3つの説がある。
2月	如月（きさらぎ）	厳しい寒さに備え重ね着をする季節を意味する「衣更着（きさらぎ）」、段々と春に向けて陽気があるのを意味する「気更来（きさらぎ）」、春に向けて草木が更に生えてくるという意味の「生更木（きさらぎ）」から転じたという3つの説がある。
3月	弥生（やよい）	「木草、弥や生ひ茂る月」を省略したもの。暖かくなり草木が生い茂るから。
4月	卯月（うづき）	卯の花が咲くことから「卯の花月」を省略したもの。ただ卯月に咲く花であるため卯の花と呼ぶという説もある。他にも諸説あり。
5月	皐月（さつき）	早苗を植える月であることから早苗月（さなえつき）が早月（さつき）になったというもの。「さ」が「皐」になったのは神に捧げる稲の意味がある。
6月	水無月 （みなづき）	「無」は「の」を意味し「水の月」であり、田んぼに水を引く月だというもの。「田んぼに水を引いて水が無くなるから」「暑さで水が干上がるから」といった説もある。
7月	文月（ふづき）	「文被月（ふみひろげづき）」が省略されて「文月」になったもの。「文被月」は短冊に歌や願い事を書く七夕の行事にちなんでいると言われている。ただ稲穂が膨らむことから「穂含月」「含月」が転じたという説もある。
8月	葉月（はづき）	現代の9月にあたるため、落葉や紅葉が始まる時期であったため「葉落ち月」と呼ばれていたものが「葉月」に転じたもの。
9月	長月（ながつき）	だんだんと日が短くなり夜が長くなっていくことから「夜長月（よながつき）」と呼ばれていたものが「長月」に転じたもの。
10月	神無月 （かんなづき）	水無月と同様「無」は「の」を意味し「神の月」であり、神を祀る月だというもの。他にも雷の鳴らない月という意味の「雷無月（かみなしづき）」が転じたという説や、新穀でお酒を醸造することから「醸成月（かみなしづき）」が転じたという説もある。
11月	霜月（しもつき）	「霜降月（しもふりつき）」が省略されて「霜月」が転じたもの。他にも満ちた数字の十を上月としそれに対する「下月（しもつき）」が転じたという説などいくつかの説がある。
12月	師走（しわす）	師匠である僧侶がお経をあげるために東へ西へと馳せることを意味する「師馳す（しはす）」が転じたもの。他にも年が終わるという意味の「年果つ（としはつ）」が転じたという説や、四季が果てることを表す「四極（しはつ）」が転じたという説もある。

いかがでしょうか？現在使っている「1月，2月…12月」の方がシンプルで分かりやすいのですが，こうした日本特有の言い方って，それぞれに意味があり，とても素敵だと私は思います。

さらに，2月の言い方が各国でどうなっているかもちょっと調べてみました。

日本を含む東アジア地域の月の言い方は「何番目を表す数十月」となっているようですが，欧米や西アジア地域では，ローマ神話に登場する慰霊祭 Februaria（フェブルアーリア：戦争の罪を清めるためのお祭り）の主神（フェブルウス）が由来となっているようです。東アジアの人たちの方が合理的に物事を考えているのかもしれませんが，自然の移り変わりが月の名前に反映しているのは，おそらく日本だけで，これもとても素敵だと思います。



言語	表記	読み方
英語	February	フェブラリー
中国語	二月	アーユエ
韓国語	이월	イウォル
スペイン語	febrero	フェブレロ
フランス語	février	フェヴリエ
アラビア語	فبراير	フェブラール
ロシア語	Ф е в р а л ь	フェブラーリ
ポルトガル語	fevereiro	フェヴェレイロ
ドイツ語	Februar	フェーブルアール
イタリア語	febbraio	フェブライオ
ラテン語	Februarius	フェブルアリウス

2月の「広報 南アルプス」には，北小関係者がいっぱい

すでにご覧になった方が多いかと思いますが，2月の「広報 南アルプス」には，本校の関係者がたくさん掲載されていました。ページの順に紹介していくと…

2ページ：祝 令和5年 二十歳のつどい

本校に教育ボランティアで協力してくださっている大学生が，二十歳の抱負を述べている写真が掲載されています。

12ページ：Topics のコーナー

ホッケーU12日本代表に選抜された6年生男子が金丸市長のもとを訪れた写真と，学校だよりでも紹介した横内孟様・直子様からの寄付金贈呈式の様子が掲載されています。

裏表紙：LOCO MAGAZINE のコーナー

本校3年生と1年生の兄弟のお母様が，おじいちゃん・おばあちゃんの経営する農園で働いている様子が紹介されています。

2人の兄弟も，美味しそうなブドウを持って登場しています。

市の広報なので，学校の話等が紹介されることも時々はあるのですが，一度にこのようにたくさんの記事が掲載されるのは，ちょっと珍しいかもしれません。まだご覧になっていない方は，ぜひ一度ご覧いただければと思います。

新聞を取っている方は，2月1日の朝刊の折込に入っていました。広報誌がお手元にない方は，右のQRコードから市のホームページにあるPDF版を見ることができます。

昨日行われた授業参観の様子は，紙面の関係で次号の学校通信で紹介します。たくさんの保護者の皆様のご参加，ありがとうございました。

